

WinActor ノート

端末機能シナリオ 作成マニュアル

NTTアドバンステクノロシ、株式会社

Copyright © 2013-2025 NTT, Inc. & NTT ADVANCED TECHNOLOGY CORPORATION

1.	はじ	.めに	1
1	.1.	本書の位置づけと概要	1
1	.2.	ライセンス	2
1	.3.	本書に関する注意	2
2.	シナ	リオ作成チュートリアル	3
2	.1.	事前準備	3
2	.2.	シナリオの作成方法	4
2	.3.	シナリオ作成手順	5
2	.4.	シナリオの全体像	7
2	.5.	WinActor ノートのマクロ作成	8
	2.5.1	1. WinActor ノートの画面クリア	8
	2.5.2	2. SSH ツールでの処理	9
	2.5.3	3. テキスト処理1	3
	2.5.4	4. 画面上のテキストデータのファイル保存1	5
	2.5.8	5. マクロの保存1	6
2	.6.	WinActor のシナリオ作成	7
	2.6.	1. 作成したマクロの呼び出し1	8
	2.6.2	2. 判定処理の追加	1
	2.6.3	3. ファイル受信処理の追加2	7
	2.6.4	4. ログ保存用フォルダの作成処理の追加	1
	2.6.8	5. ログファイルの移動処理の追加	6
2	.7.	動作確認5	4
3.	ライ	ブラリ・プロパティの一覧5	5
3	.1.	シェルツール	5
	3.1.1	1. PowerShell を開く5	8
	3.1.2	2. コマンドプロンプトを開く5	8
	3.1.3	3. コマンドを実行する(PowerShell,コマンドプロンプト)5	8
	3.1.4	4. PowerShell・コマンドプロンプトを閉じる5	8
3	.2.	SSH ツール	9
	3.2.1	1. 接続設定	1
	3.2.2	2. SSH クライアントを開く 6	5
	3.2.3	 SSH クライアントを開く(接続先一覧設定)	6
	3.2.4	4. コマンドを実行する(SSH クライアント)	7
	3.2.8	5. SSH クライアントを閉じる 6	7

3.2.6.	ファイル送信(SCP)	68
3.2.7.	ファイル送信(SCP・接続先一覧設定)	69
3.2.8.	ファイル受信(SCP)	70
3.2.9.	ファイル受信(SCP・接続先一覧設定)	71
3.2.10.	制御コードを送信する(SSH クライアント)	72
.3. Telr	net ツール	73
3.3.1.	Telnet クライアントを開く	74
3.3.2.	コマンドを実行する(Telnet クライアント)	75
3.3.3.	Telnet クライアントを閉じる	75
3.3.4.	制御コードを送信する(Telnet クライアント)	75
ドッキン	·グウィンドウ	76
参照資料	k	77
	 3.2.6. 3.2.7. 3.2.8. 3.2.9. 3.2.10. .3. Tehr 3.3.1. 3.3.2. 3.3.3. 3.3.4. ドッキン 参照資料 	 3.2.6. ファイル送信(SCP)

1. はじめに

•

1.1. 本書の位置づけと概要

本書は WinActor ノートと連携して動作する端末機能のシナリオを作成するためのマニ ュアルです。

端末機能では以下の機能が提供されます。

<u>Windows シェル機能</u> Windows PowerShell、コマンドプロンプト上でのコマンド実行機能

<u>SSH/SCP クライアント機能</u>
 SSH サーバへ接続・切断、コマンド実行機能
 SSH サーバへのファイル転送機能(SCP)

<u>Telnet クライアント機能</u>
 Telnet サーバへの接続・切断、コマンド実行機能

端末機能はWinActor ノートのマクロ機能と組み合わせて使用することで、コマンドの実 行結果に応じたより細かい制御が可能になります。

1.3 章では、CentOS 上に構築された SSH サーバに接続してコマンドを実行し、コマンドの出力結果に応じて、ログファイルを取得するシナリオを作成します。本チュートリアルを通じて WinActor ノートの端末機能を体験することができます。

なお WinActor ノートの使用方法については、表 5-1 参照資料の No.3,4 の資料をご参照ください。

1.2. ライセンス

本書において以下に記載された名称、およびその他記載されている会社名、製品名は、各 社の登録商標または商標です。TM、®、©マークは省略しています。

 Windows、Windows PowerShell は、米国 Microsoft Corporation の米国及び その他の国における登録商標または商標です。

* Windows の正式名称は、Microsoft Windows Operating System です。

- CentOS の名称は、CentOS ltd.の商標または登録商標です。
- Mac OS、OS X は、Apple Inc.の商標です。
- Linux は、Linus Torvalds 氏の日本およびその他の国における登録商標または 商標です。

1.3. 本書に関する注意

 本書および提供するソフトウェア類に付された著作権表示「Copyright©2013-2025 NTT, Inc. & NTT ADVANCED TECHNOLOGY CORPORATION」の変更、削除を することはできません。

本書の著作権は NTT 株式会社及び NTT アドバンステクノロジ株式会社に帰属します。

本書では、Windowsの操作方法や機能を理解されていることを前提として説明しています。本書に記載されていないことについては、Microsoftが提供しているドキュメントなどをご覧ください。

2. シナリオ作成チュートリアル

2.1. 事前準備

本チュートリアルで使用する環境を表 2-1 に示します。WinActor のシナリオを実行する PC と SSH サーバとの間で、あらかじめ SSH プロトコルの導通確認が完了している状況を 前提とします。

対象	項目	内容	本チュートリアルでの設定値
サーバ	サーバ OS	CentOS Linux release	-
		7.6.1810	
	SSH サーバ	OpenSSH 7.4p1	IPアドレス:192.168.56.2
			ポート番号:22
	動作検証用	任意	ユーザ名:user
	アカウント		パスワード:ax12bc=9
WinActor	IPアドレス	任意	IPアドレス:192.168.56.1
を動作さ	シナリオ格納	任意	C:¥端末機能シナリオ
せる PC	フォルダ		
	パスワード	任意。ただし、シナリオ	パスワード:ax12bc=9、ファイ
	ファイル	格納フォルダに格納し	ル名:cihperPassword.json と
		てください。	してシナリオ格納フォルダに
			格納してください。詳細は 2.3
			をご参照ください。
	Windows	エディション:	
		Windows 10 Pro	
		日本語版	

表 2-1 本チュートリアルで使用する環境

2.2. シナリオの作成方法

端末機能を使用したシナリオの作成方法には2種類あります。

① ユーザライブラリのみで作成する方法

② WinActor ノートのマクロ機能を使用する方法

2.3 章で作成するシナリオのように WinActor ノート上で連続して処理をさせる場合、 WinActor ノートのマクロ記録を行った上で動作確認をし、作成したマクロをマクロ読込み 実行ライブラリで動作させることで、シナリオを効率的に作成できます。



図 2-1	ファイル、フォルダ名	説明
の番号		
1	ログ取得シナリオ.ums7	本チュートリアルで作成する WinActor のシナ
		リオです。ここでは WinActor Ver.7 でのシナリ
		オを例とします。
2	SSH サーバログ確認.json	本チュートリアルで作成する WinActor ノート
		のマクロです。
3	cipherPassword.json	SSHサーバにログインする際のパスワードファ
		イルです。 <u>表 5-1 の No.3 の資料の「パスワー</u>
		ドファイル生成ツール」を参照して、事前に作
		<u>成してください。</u>
4	2019-01-01_030000 など	①のシナリオ実行により作成されるログを格納
		するためのフォルダで、WinActor が動作する
		PC 上に作成されます。フォルダが作成された日
		時となり、左記の場合は2019年1月1日3時
		00分00秒を意味します。
5	SSH クライアント実行ロ	②のマクロ実行中に WinActor ノートに表示さ
	グ.txt	れた内容が本ファイルに保存されます。本チュ
		ートリアルで作成するシナリオでは SSH サー
		バへのログインメッセージ、コマンドの実行と
		結果が情報として残ります。
6	server#1.log など	①のシナリオ実行により SSH サーバが動作す
		る PC から取得した拡張子 log のファイルです。
\bigcirc	server#1.log など	SSH サーバが動作する PC 上に存在する拡張子
		log のファイルです。 <u>本チュートリアルで作成す</u>
		るシナリオでは本ファイルを取得することを目
		<u>的としています。SSH サーバ上にファイルがな</u>
		い場合は事前にファイルを作成してください。
		なお、ファイルの中身としては 10 文字未満のテ
		キストデータを使用しています。

表 2-2 各種ファイル、フォルダの説明

作成するシナリオでは、WinActorのノード、ユーザライブラリを使用しています。シナ リオ中のノード、ユーザライブラリの内容については、表 5-1の No.1,2の資料をご参照く ださい。

また作成するシナリオでは、一般的な Linux のコマンドを使用しています。各コマンド の内容については Linux 関連の書籍、Web ページ等でご確認ください。

2.4. シナリオの全体像

シナリオを作成するための全体像を以下に示します。

- 1. WinActor ノートのマクロ作成(2.5 章参照)
 - A) SSH サーバ上のログ格納フォルダ内に拡張子 log のファイルがあるかを判断可 能な値を取得し、WinActor 変数に取り込むまでの処理を作成。その際、WinActor ノートを起動してマクロ記録を行いながらマクロを作成。
- 2. WinActor のシナリオ作成(2.6 章参照)
 - A) WinActor のシナリオから作成したマクロの呼び出す処理を追加。
 - B) 拡張子 log のファイルの有無の判定処理を追加。
 - C) 拡張子 log のファイルが存在する場合は拡張子 log のファイルを受信する処理を 追加。
 - D) その他、ログを保存するフォルダの作成、ログの移動等の処理を追加。

WinActorノート 端末機能 シナリオ作成マニュアル	
2.5. WinActor ノートのマクロ作成 WinActor ノートの操作については、最新の表 5-1の No.3の資料をご参照ください。 WinActor ノートを起動しておき、かつマクロ記録を有効にします。	þ
WinActor/-ト _ □ 入力	
EOT	
マクロ編集 作成 □ ► ► C S < ▲ C C S C C S C C S C C S C C S C C S C C S C C S C C S C S C C S C S C C S C	×
No. コマンド パラメータ エラー/警告 ユーザメモ	
図 2-2 マクロ作成開始時点の WinActor ノート	
2.5.1. WinActor ノートの画面クリア 前回の実行時のログが WinActor ノートに残らないように WinActor ノートの画面ク た行います。	リア
WinActor/-ト - □ シカ 全体整形 カーソル移動 マーク 編集 ファイラー 1<1<1<1<1<1<1<1<1<1<1<1<1<1<1<1<1<1<1<	
TOP	
凶 2-3 画面クリア	



SHツール		_
┌接続設定 ────		
文字コードセット	UTF-8	
送信用改行コード	LF (Linux, MacOS X)	
ホスト	192.168.56.2	
ポート番号	22	
ユーザ名	user	
パスワードファイル	C:¥端末機器シナリオ¥cipherPasswordr.json 参照	
コマンド待ち文字列	\$	
タイムアウト値[秒]	10	
接続先一覧ファイル	参照	
◎ パスワード認証		
○ 公開總認証	「「「」「「」」	
	✓ ワークフォルダ変更をマクロに記録しない	
SSHクライアント フ	アイル送信(SCP) ファイル受信(SCP)	
	SSHセッションを聞く	-2
	セッションを閉じる	
אעדב	■ 制御コード Ctrl+A マ 実行	

コマ 図 たの	マンドを実行する 2-6 の①に下記 A)~D)の[入力するコマンド]に記載されているコマンドを入力し つち、実行ボタン(図 2-6の②)をクリックします。
	セッションを閉じる コマンド ① 割御コード Ctrl+A ▼ 実行 ②
	図 2-6 コマンドを実行する
A)B)C)	ログフォルダへ移動する [入力するコマンド] cd log 日付を取得する [入力するコマンド] date 拡張子 log のファイルを表示 [入力するコマンド] ls *.log
D)	C)のコマンドの実行結果を表示 [入力するコマンド] echo \$?
[注] 「1 コー 編集 から	意事項] . SSH クライアントを開く」から間隔を開けてコマンドを実行した場合には、 マンドの実行が失敗することがあります。その際には、WinActor ノート マクロ ミウィンドウにて、「作成」にある「新規作成」ボタンをクリックし、再度 2.5.1 章 っやり直してください。

$\boxtimes 2^{\cdot}$	7 の「セッションを閉じる」ボタンをクリックし、SSH クライアントを閉じま
す。	
	セッションを閉じる (1)
	マンド 🗌 制御コード Ctrl+A 🔻 実行
	図 2-7 SSH クライアントを閉じる
長 2-2の C図 2-8	⑦が server#1.log,server#2.log の場合、ここまでの実行結果は、WinActor ノー のように表示されます。
	メイン
	TOP
	Last login: Thu Aug 29 14:07:12 2019 from 192.168.56.1
	user@winactor:~\$ cd log
	user@winactor:~/log\$ date 2019年 8月 29日 木曜日 14:35:54 JST
	user@winactor:~/log\$ ls *.log
	server#1.log_server#2.log
	user@winactor:~/log\$ echo \$?
	0
	user@winactor:~/log\$
	EOT

WinActor ノート 端末機能 シナリオ作成マニュアル 2.5.3. テキスト処理 以下の手順にしたがって、拡張子が log のファイル有無の結果を選択します。 「空白除去ツール」(「編集」→「空白除去ツール」)で余分な空白を除去 1. 「対象」として「全ブロック」を選択、「改行を除去」を選択し(図 2-9 ①)、「実行」 ボタンをクリック(図 2-9 ②) 空白除去ツール **▼** X 対象 全ブロック • 寝白を除去 1 改行を除去 先頭の空白を除去 末尾の空白を除去 先頭と末尾の空白を除去 実行 (2) 図 2-9 「空白除去ツール」の実行 「ブロック検索ツール」と「次のブロックを選択」で、echo \$?の実行結果を選択 2.① ブロック検索ツール(「ブロック抽出」→「ブロック検索ツール」)で、「キーワー ド」に「\$?」を入力、「を含む」を選択、「前方検索(カーソル移動)」を選択し(図 2-10 ①)、「実行」ボタンをクリック(図 2-10 ②) ブロック検索ツール * X *-7-1 \$? (1)Ŧ を含む 前方検索(カーソル移動) 後方検索(カーソル移動) 該当ブロックをマーク 該当ブロックを追加でマーク 該当ブロックのマークを外す 該当ブロックを削除 該当ブロックを残して他のブロックを削除 次の該当ブロックまでを追加でマーク $(\mathbf{2})$ 実行

図 2-10 「ブロック検索ツール」による検索



WinActor ノート 対	端末機能 シナリオ作成マニュアル
5.4. 画面上のテキ VinActor ノートの「 「出力ツール」(「出 毛行」ボタンをクリ	ストデータのファイル保存 画面上のテキストデータをログとして保存します。 ゴカ」→「出カツール」)を使用し、表 2-3 にしたがって値を設定し、 ックします。
出力ツール	▼ X
文字J- 改:	対象 全ブロック 1 ファイルへ 2 う C*端末機能シナリオ¥SSHクライアント実行ログ.txt ファイル参照 7 ドセット MS932 (Shift JIS) 4 イント 5 イント 5 イント 7 シークフクオルグ変更をマクロに記録しない 東行 図 2-13 出力ツールの設定画面
	表 2-3 出力ツールの設定値
図 2-13 の番号	設定値
	「全ブロック」を選択
2)	「ファイルへ」を選択
3)	「C:¥端末機能シナリオ¥SSH クライアント実行ログ.txt」を入力
4)	「MS932(Shift JIS)」を選択
5)	「CR+LF(Windows)」を選択
6)	ナェックを人れる
<u> </u>	

WinActor ノート 端末機能 シナリオ作成マニュアル 2.5.5. マクロの保存 WinActor ノートマクロ編集画面(「表示」→「マクロ編集」で開く)で、マクロ記録を無効 にし(図 2-14 ①)、「保存」ボタンをクリックします(図 2-14 ②)。 ファイル名を SSH サーバログ確認.json(図 2·14③)として、C:¥端末機能シナリオのフォ ルダ(図 2-14 ③)へ現在編集中のマクロを保存します(図 2-14 ④)。 マクロ編集 2 編集 **•** X (1 물고 수류 作成 実行 🛟 🟳 😂 🖉 🛕 🖓 😓 🥎 🤭 🜔 🛸 🚾 🕕 コマンド ユーザメモ No. パラメータ エラー/警告 31 next [-target, SELECTED, RM_ editBlock 32 33 next [-target, SELECTED, RM_ 34 editBlock [-target, SELECTED, -pos 35 unBlock ● ファイル選択 \times » PC » ローカルディスク(C:) » 端末機能シナリオ ← ✓
 ひ 端末機能シナリオの検索
 Q 新しいフォルダー 整理 ▼ 833 🗸 ? 更新日時 種類 名前 サイズ 💻 PC 🧊 3D オブジェクト 致する項目はありません。 検索条件に 🖊 ダウンロード 3) 🔜 デスクトップ 🔮 ドキュメント 📰 ピクチャ 📕 ビデオ 🎝 ミュージック 🟪 ローカル ディスク (C:) 🗸 🤘 ファイル名(N) SSHサーバログ確認.json ファイルの種類(<u>T</u>): Json (*.json) (**4**) *++>tull* 保存(S) ▲ フォルダーの非表示 図 2-14 マクロの保存

2.6. WINACTORの 今回作成する Win	のシテリオ作成 Actor のシナリオを	・新規シナリオ:	ファイルとして [,]	保存します。	
	ノ- 開く 4. 上き 名前 イン	eff成 → 3 まき保存 1を付けて保存 ポート →			
⑧ 保存				×	
← → ∽ ↑	« □−カル ディス » 端末機	能シナリオ 🗸	∂ 2 焼末機器	シナリオの検索	
	Nフォルダー			≣ - ()	
🖊 ダウンロード	^ 名前	^	更新日時	種類	
三見 デスクトップ		検索条件に一致す	る項目はありません。		
F#1X2F					
	~ <			>	
ファイル名(N	D ログ取得シナリオ			~	
ファイルの種類(]): シナリオファイル(*.ums7)			~	
ヘ フォルダーの非表:	7		保存(<u>S</u>)	キャンセル	
	図 2-15 新	規シナリオファ	イルの保存		



H サーバログ プロパティ	'確認.js 	on)を入力し 	~ [更新] ボ	タンをクリ	ックします。	▼ ×	
			スクリプトま	【行			
	名前 🔻	7クロ読込み実行	τī				
,	メント						
設定	スクリプト	、注釈 パ	ージョン情報				
WinActo マクロファ 相対パス	orノート に パル名は、 で指定し、	マクロを読み込み シナリオファイル ます。	み、そのマクロを実 /の置かれたフォル	ミ行します。 ・ダからの			
	マクロ	ファイル名 値	⇒ C:¥端末機能	ミシナリオ¥SSH	サーバ[🔻 🛄		
		更 新			The t		
		更新			元に戻す		
		更新 図 2-1	.7 マクロフ	アイル名の	元に戻す		
		更新 図 2-1	.7 マクロフ	アイル名の	元に戻す		
		更新 図 2-1	.7 マクロフ	アイル名の	元に戻す		
		更新 図 2-1	.7 マクロフ	アイル名の	元に戻す		
		更新 図 2-1	.7 マクロフ	アイル名の	元に戻す		
		更新 図 2-1	.7 マクロフ	アイル名の	元に戻す		
		更新 図 2-1	.7 マクロフ	アイル名の	元に戻す		

WinActor ノート 端末機能 シナリオ作成マニュアル マクロ読込み実行ライブラリのみで正常に動作するかを確認します。

WinActor のツールバーの実行ボタンをクリックすると、WinActor ノート上に想定のテ キスト内容が出力されることを確認できます。確認後、「C:¥端末機能シナリオ¥SSH クラ イアント実行ログ.txt」ファイルを削除してください。

* ログ取得シナリオ.ums7 [編集] - WinActor	WinActor/-ト
▶ 0 0 • 0 •	
🖻 🕸 🛅 🛅 🖻	×12
	EOT
* ログ取得シナリオ.ums7 [編集] - WinActor	WinActor/-ト
▶ ♥ ● ● ●	- 入力
📩 🔹 🛅 🗃 💌 I	×12
	user@winactor:~\$ cd log
	user@winactor:~/log\$ date 2019年 8月 29日 木曜日 14:35:54 JST
	user@winactor:~/log\$ ls *.log
	server#1.log_server#2.log
	user@winactor:~/log\$ echo \$? 0
	user@winactor=/log5
図	2-18 マクロ読込み実行ライブラリの動作確認

WinActorノート 端末機能 シナリオ作成マニュアル
2.6.2. 判定処理の追加 WinActor ノート上のテキストを読み取り、WinActor で変数として保存するための動作 を追加します。 ユーザライブラリから「変数に取り込み」をドラッグ&ドロップで配置します
・ ・<
 <i>アロック会型、ール フロック</i>着号指定ッール <i>ブロック</i>着号指定ッール <i>ブロック</i>着号指定ッール <i>ブロック</i>着号指定ッール <i>ブロック</i>着号指定ッール <i>ブロック</i>着号指定ッール <i>マクロ</i>読込み実行 <i>マクロ</i>読込みまた <i>マクロ</i>読込みまた <i>マクロ</i>読込みまた <i>マクロ</i>読込みまた <i>マクロ</i>に読込みまた <i>マクロ</i>に加速した <i>マクロ マクロ マクロ</i>
・ 文字列の読み込み ・ 状態読み取り ノード ライブラリ お気に入り 評価版 編集中 ID:7 種別: スクリプト実行 名前: マクロ読込み実行 コメント: ◎ 1個のエラーが見つかりました 表示ノード数: 2 / 2 表示信率: 100%
図 2-19 フィンフリ(変致に取り込み)の挿入

ライブラリの配置後、プロパティ画面を開きます。

マクロ読込み実行ライブラリの実行後「echo \$?」の実行結果が選択され、選択内容を変数として WinActor 上に読み込むため、変数名を「echo 実行結果」と定義し[更新] ボタンをクリックします。

新しい変数として登録するか否かを確認する画面が表示され、[はい]をクリックすると 変数一覧画面に新しい変数として登録されます。

名前 echo実行結果 Jメント 野定 スクリプト 設定 スクリプト 注釈 パージョン情報 WinActor/ート 上のテキストを変数に取り込みます。 対象 選択されているブロック 政行 含めない 政行コード CR+LF (Windows) 取得結果 echo実行結果 更新 元に戻す 図 2-20 変数名の入力	名前 echo実行結果 Jメント 野定 スクリプト 注釈 パージョン情報 WinActor/ート 上のテキストを変数に取り込みます。 対象 選択されているブロック ・ 政行 含めない ・ 政行 含めない ・ 取得結果 echo実行結果 ・ 更新 元に戻す 図 2-20 変数名の入力 2-20 変数名の入力	名前 echo実行結果 Jメント 野定 スクリプト 注釈 パージョン情報 WinActor/ート 上のテキストを変数に取り込みます。 対象 選択されているブロック ・ 政行 含めない ・ 政行コード CR+LF (Windows) ・ 取得結果 echo実行結果 ・ 更新 元に戻す 図 2・20 変数名の入力		スクリプト実行		
JXソト 設定 スクリプト 注釈 パージョン情報 WinActor/ート 上のテキストを変数に取り込みます。 対象 選択されているブロック ● 政行 含めない ● 政行 合めない ● 政行コード CR+LF (Windows) ● 取得結果 echo実行結果 ● 更新 元に戻す 図 2-20 変数名の入力	Jメント 	コメント 設定 2クリプト 注釈 パージョン情報 WinActor/ート 上のテキストを変数に取り込みます。 対象 選択されているブロック ・ 政行 含めない ・ 政行 含めない ・ 政行コード CR+LF (Windows) ・ 取得結果 echo実行結果 ・ 更新 元に戻す 図 2-20 変数名の入力	名前 echo実行網			
設定 スクリプト 注釈 パージョン情報 WinActor/ート 上のテキストを変数に取り込みます。 対象 選択されているブロック ● 政行 含めない ● 政行コード CR+LF (Windows) ● 取得結果 echo実行結果 ● 更新 元に戻す 図 2-20 変数名の入力	設定 スクリプト 注釈 パージョン情報 WinActor/ート 上のテキストを変数に取り込みます。 対象 選択されているブロック ● 政行 含めない ● 政行 合めない ● 政行コード CR+LF (Windows) ● 取得結果 echo実行結果 ● 更新 元に戻す 図 2-20 変数名の入力	設定 Zクリプト 注釈 パージョン情報 WinActor/-ト 上のテキストを変数に取り込みます。 対象 選択されているブロック ・ 改行 含めない ・ 政行 含めない ・ 政行 CR+LF (Windows) ・ 取得結果 echo実行結果 ・ 更新 元に戻す 図 2-20 変数名の入力	コメント			
WinActor/-ト上のテキストを変数に取り込みます。 対象 選択されているブロック 政行 含めない 政行コード CR+LF (Windows) 取得結果 echo実行結果 更新 元に戻す 図 2・20 変数名の入力	WinActor/-ト上のテキストを変数に取り込みます。 対象 選択されているブロック 政行 合めない 政行コード CR+LF (Windows) 取得結果 更新 元に戻す 図 2-20 変数名の入力	WinActor/-ト上のテキストを変数に取り込みます。 対象 選択されているブロック 政行 含めない 政行 合めない 政行 CR+LF (Windows) 取得結果 echo実行結果 更新 元に戻す 図 2・20 変数名の入力	設定 スクリプト 注釈	バージョン情報		
対象 選択されているブロック ・ 政行 含めない ・ 政行コード CR+LF (Windows) ・ 取得結果 echo実行結果 ・ 更新 元に戻す 図 2-20 変数名の入力	対象 選択されているブロック ・ 政行 含めない ・ 政行コード CR+LF (Windows) ・ 取得結果 echo実行結果 ・ 更新 元に戻す 図 2-20 変数名の入力	対象 選択されているブロック ・ 政行 含めない ・ 政行コード CR+LF (Windows) ・ 取得結果 echo実行結果 ・ 更新 元に戻す 図 2-20 変数名の入力	WinActorノート 上のテキストを	変数に取り込みます。		
 政行 含めない 政行コード CR+LF (Windows) 取得結果 echo実行結果 更新 元に戻す 図 2-20 変数名の入力 	政行 含めない 政行コード CR+LF (Windows) 取得結果 echo実行結果 更新 元に戻す 図 2-20 変数名の入力	 政行 含めない 政行コード CR+LF (Windows) 取得結果 echo実行結果 更新 元に戻す 図 2-20 変数名の入力 	象校	選択されているブロック	•	
	取行コード CR+LF (Windows) 取得結果 echo実行結果 更新 元に戻す 図 2-20 変数名の入力	取引 1 1 1 1 1 取行コード CR+LF (Windows) ・ 取得結果 echo実行結果 ・ 更新 元に戻す 図 2-20 変数名の入力				
 み行コード CR+LF (Windows) 取得結果 echo実行結果 更新 元に戻す	政行コード CR+LF (Windows) ▼ 取得結果 ●cho実行結果 ▼ 更新 元に戻す 図 2-20 変数名の入力	 政行コード CR+LF (Windows) 取得結果 ●cho実行結果 更新 元に戻す 図 2-20 変数名の入力 	■X1J	3040	•	
取得結果 echo実行結果 更新 元に戻す 図 2・20 変数名の入力	取得結果 ●cho実行結果 ● 更新 元に戻す 区 2-20 変数名の入力	取得結果 echo実行結果 更新 元に戻す 図 2-20 変数名の入力	改行コード	CR+LF (Windows)	-	
更新 元に戻す 図 2-20 変数名の入力	更新 元に戻す 図 2-20 変数名の入力	更新 元に戻す 図 2-20 変数名の入力	取得結果	echo実行結果	•	
更新 元に戻す 図 2-20 変数名の入力	更新 元に戻す 図 2-20 変数名の入力	更新 元に戻す 図 2-20 変数名の入力				
図 2-20 変数名の入力	図 2-20 変数名の入力	図 2-20 変数名の入力	更新		元に戻す	
図 2-20 変数名の入力	図 2-20 変数名の入力	図 2-20 変数名の入力				
				12/ 9-90 ルホホイノ (1)	人刀	
				凶 2 20 友致石の		
				因 2 20		

WinActor ノート 対 変数一覧	端末機能 シナリオ作成	え マニュアル		• X
Image: wide wide wide wide wide wide wide wide	愛数名 echo実行結果		初期化しない 初期	▲ マスク 値 マスク □ □
変数「echo 実行結界 -	図 2-21 変数 - 長」に「echo \$?」の実行	- 覧画面の更新(示結果の文字列)	確認 が読み込まれる動作	を確認しま
。 現在のシナリオの状 なの値が初期化されて ノードから「待機ボ	態で「実行」 ボタンをク しまうため、末尾に「 ジクス」をドラッグ&	ソリックすると [、] 待機ボックス」 ドロップで配置	すべての処理が完了 を配置します。 とします	した後に変
	C ● ク取得シナリオ.ums7 × ・ ・ ・ の ・ の ・ の ・ の ・ の ・ の ・ の ・ の ・ の ・ の ・ の ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		 +0 ▼ ● ●<	▼列
計画AX 7時美平 IU:9種別:特機不少	図 2-22 待機	メンマールス フガツス せんぐした	表示/「☆/王/「殻:3/3 :	α/小百年÷100%

WinActor ノート 端末機能 シナリオ作成マニュアル 現状態のシナリオを実行し、動作を確認します。 WinActor のツールバーの実行ボタンをクリックし、変数一覧画面の「echo 実行結果」に 「echo \$?」の実行結果のテキスト(今回の場合は「0」)が入力され現在値が更新されるか を確認します。 * ログ取得シナリオ.ums7 [攝集] - WinActor 1 1 +0 C 0 変数一覧 **▼** × 🖂 🔍 😼 🔂 🚯 🙂 🚯 🙂 😂 🔂 🕒 🚱 🖉 🖄 🤻 🦩 🧏 グループ名 変数名 現在値 初期化しない 初期値 マスク ▼ グループなし echo実行結果 * ログ取得シナリオ.ums7 [編集] - WinActor -部分一致 🔻 変数一覧 - × 🔍 🖳 🔂 🔂 🖸 🖸 😂 🔂 🖸 🖸 🖸 😂 🖌 🛤 🖘 🕞 두 두 (xy)グループ名 変数名 現在値 初期化しない 初期値 722 ▼ グループなし echo実行結果 0 図 2-23 変数に取り込みの動作確認



ノードの配置後、プロパティ画面を開きます。

プロパティの「名前」、「分岐名」を変更したのち、「条件式設定」をクリックし、「条件式」 ウィンドウで条件式の左辺は「echo 実行結果」を選択、右辺には0を入力します。これに より echo \$?の実行結果が0の場合、すなわち拡張子logのファイルが存在する場合、分岐 名「あり」の処理に移動します。

最後に条件式画面、プロパティ画面の [更新] ボタンを順にクリックし、プロパティ設定 を完了します。





配置したライブラリをダブルクリックしてプロパティを開きます。

各項目について、表 2-4にしたがって入力してください。入力後 [更新] ボタンをクリックします。新しい変数として登録するか否かを確認する画面が表示され、[はい] をクリックすると変数一覧画面に新しい変数として登録されます。

項目	設定値	備考
認証方式	「パスワード認証」を選択	-
ホスト	「ホスト」を入力	*1
ポート番号	「ポート番号」を入力	*1
ユーザ名	「ユーザ名」を入力	*1
パスワードファイル	「パスワードファイル」を入力	*1
秘密鍵ファイル		「値⇒」のままにします
タイムアウト値[秒]	「タイムアウト値」を入力	*1
送信元ファイル	「送信元ファイル」を入力	*1
送信先パス	「日付」を入力	*1

表 2-4 ファイル受信(SCP)のプロパティ設定値

1 一度「」を選択してから値を入力します。

スクリプト実行 名前 ファル受信(SCP) コゲト コゲト 野産 スクリプト 注釈 「「ジョン情報 SCPによるファイル受信を行います。 「パフードファイル、秘密健ファイル、送信先パスは、 シリオファイルの固かれたフォルダからの相対パスで指定します。 「パスワード認証 マ ホスト マ ホスト マ ボート番号 マ ノ(スワードファイル パ(スワードファイル 松密健ファイル 値~ タイムアウト値 タイムアウト値 ジ目付 マイムアウト値 夏新 元に戻す 図 2-27 プロパティ酸定後	Ath フィル受信(SCP) コメルト アイル受信(SCP) コメルト アイル受信(SCP) ロビア アクリアト 日 アクリアクト 日 アクリアクト ロージス アクリアクト アクリアクト アクリアクト ロージス アクリアクト アクリアクト アクリアクト ロージス アクリアクト アクリアクト アクリアクト ロージス アクリアクト アクリアクト ロージ ジェ ロージ ビビアクリト ロージ ビビアクリアクリアクリアクリアクリアクリアクリアクリアクリアクリアクリアクリアクリア	スリリアト実行 名前 ファイル受信(SCP) コジト 方定 スリリアト 夏重 ハージョン日報 SCPになるファイル、受信を行います。 パージャイル・の言かれたフォルダからの相対パスで指定します。 水ート番号 ・ パンワードジアイル ・ パンワードファイル ・ グロケウト値(P) ジインワードブイル 安徳たファイル ・ メビーケックト値(P) ジイムアウト値(P) 支信先パス 日付 更新 一に戻す	プロパ	71		▼ X	
名前 ファイル受信(SCP) Jメト 野定 スクリプト 注釈 バージョン情報 SCPによるファイル受信を行います。 パスワードファイル、秘密鍵ファイル、送信先パスは、 ウリオファイルの置かれたフォルダからの相対パスで指定します。 レイフード認証 マ ホスト マ ホスト マ ホスト マ パスワードファイル バート番号 ノーザ名 コーザ名 ノイスワードファイル マ シイムアウト値(秒) タイムアウト値 メ信定、ファイル マ 送信元、ファイル マ 更新 元に戻す 図 2-27 プロパティ設定後	Am ファイル受信(SCP) Jント </td <td><complex-block></complex-block></td> <td></td> <td>22</td> <td>クリプト実行</td> <td></td> <td></td>	<complex-block></complex-block>		22	クリプト実行		
コメント ・	<complex-block></complex-block>	<complex-block></complex-block>		名前 ファイル受信	Ē(SCP)		
設定 スクリプト 注釈 バージョン情報 SCPによるファイル受信を行います。 パスワードファイル、秘密健ファイル、送信先パスは、 ウリオファイルの置かれたフォルグからの相対パスで指定します。 認証方式 パスワード認証 マ ホスト マ ホスト マ ホスト マ パスワード認証 マ パスワード認証 マ パスワードファイル マ パスワードファイル パスワードファイル 必密健ファイル 恒っ タイムアウト値[秒] タイムアウト値 メ信定、ファイル 送信元、ファイル 支信先パス 日付 更新 元に戻す 図 2-27 プロパティ酸定後	設定 ハワリブト 注釈 パージョン情報 SCPによるファイル受信を行います。 パージアイル、秘密継ファイル、送信先パスは、 フリガアイルの置がれたフォルダからの相対パスで指定します。 レガスト レスワード認証 マ ホスト マ ホスト ホスト マ ホスト パスワード認証 マーザ名 マ パスワードファイル パスワードファイル マ タイムアウト値(秒) ダイムアウト値 マ メ信先パス 日付 マ 更新 元に戻す 図 2-27 プロパティ 設定後	設定 スリリアト 注釈 パージョン情報 SCPによっアバル、砂密鍵ファイル、送信先パスは、 けスワード認証 パスワード認証 マ ホスト ・ ・ ホスト ・ ・ ボート番号 ・ ・ パスワードファイル ・ ・ パスワードファイル ・ ・ タイムアウト値(秒) シイムアウト値 ・ タイムアウト値(秒) シイムアウト値 ・ 支信先パス 日付 ・ 更新 元に戻す		אעאב			
SCPによるファイル受信を行います。 パスワードファイル、秘密鍵ファイル、送信先パスは、 シリオファイルの置かれたフォルダからの相対パスで指定します。 窓証方式 パスワード認証 ホスト ・ ホスト ・ ホスト ・ ボート番号 ・ パスワードファイル パスワードファイル 必密鍵ファイル ビーザ名 タイムアウト値(秒) タイムアウト値 メ信先パス 日村 支信先パス 日村 更新 元に戻す	SCPによるファイル受信を行います。 パフゥードファイル、秘密鍵ファイル、送信先パスは、 ウリオファイルの置かれたフォルダからの相対パスで指定します。 取正方式 パスワード認証 ホスト ・ ホスト ・ ホスト ・ ホスト ・ ボート番号 ・ パスワードファイル ・ パスワードファイル ・ タイムアウト値(秒) タイムアウト値 安信元ファイル ・ 送信元ファイル ・ 支信先パス 日付 更新 元に戻す	SCPによるファイル受信を行います。 パロードファイル、砂密鍵ファイル、送信先パスは、 ウリオファイルの置かれたフォルグからの相対パスで指定します。 認証方式 パスワード認証 ホスト ホスト ホスト ホスト ホート番号 ・ ノーザ名 ・ パスワードファイル ・ 砂密鍵ファイル 値 つ タイムアウト値(秒) タイムアウト値 支信先プアイル ・ 送信先パス 日付 更新 元に戻す	設計	定 スクリプト 注釈	バージョン情報		
 認証方式 パスワード認証 ホスト ホスト ホスト ホスト ボート番号 コーザ名 コーザ名 コーザ名 パスワードファイル パスワードファイル パスワードファイル アイムアウト値[秒] タイムアウト値 ジェ信先パス 日付 更新 元に戻す 図 2-27 プロパティ設定後 	認証方式 パスワード認証 ・ ホスト ホスト ・ ホート番号 ・ ・ ユーザ名 ・ ・ パスワードファイル パスワードファイル ・ パスワードファイル パスワードファイル ・ パスワードファイル ・ ・ パスワードファイル ・ ・ パスワードファイル ・ ・ ジロンドウト値(秒) タイムアウト値 ・ 送信元ファイル ・ ・ 送信先パス 日付 ・ 更新 元に戻す 図 2-27 プロペディ 設定後 アレー	認証方式 パスワード認証 ・ ホスト ホスト ・ ホート番号 ・ ・ ユーザ名 ユーザ名 ・ パスワードファイル パスワードファイル ・ ジロードファイル ・ ・ ジロードウト値(14) ・ ・ ジロードファイル ・ ・ ジロードウト値 ・ ・ ジロードウト値 ・ ・ 夏新 ・ アロードアード アロード ・ アロード ・ ・ 夏新 アン・ アン・ アン・ アン・ アン・ アン・	SCP パス シナ	によるファイル受信を行い ワードファイル、秘密鍵ファ リオファイルの置かれたフォ	ます。 ッイル、送信先パスは、 tルダからの相対パスで	指定します。	
 ホスト ホスト ボート番号 エーザ名 コーザ名 コーザ名 パスワードファイル パスワードファイル ジ タイムアウト値 ジ ジ ダイムアウト値 ジ 送信元ファイル 送信元ファイル 送信元ファイル 三野 元に戻す 図 2・27 プロパティ設定後 	ホスト ・ ボート番号 ・ ユーザ名 ・ ユーザ名 ・ パスワードファイル パスワードファイル パスワードファイル ・ タイムアウト値[秒] タイムアウト値 送信元ファイル ・ 送信先パス 日付 更新 元に戻す	ホスト ホスト ボート番号 ・ ユーザ名 ユーザ名 ユーザ名 ・ パスワードファイル ・ パスワードファイル ・ タイムアウト値[秒] タイムアウト値 メ信売ファイル ・ 送信元ファイル ・ 支信先パス 日付 更新 元に戻す		認証方式	パスワード認証	•	
ポート番号 ・ ユーザ名 ・ ゴーザ名 ・ パスワードファイル パスワードファイル 秘密鍵ファイル 値 * タイムアウト値[秒] タイムアウト値 送信元ファイル ・ 送信先パス 日付 更新 元に戻す 図 2-27 プロパティ 設定後	ボート番号 ボート番号 ユーザ名 ・ ユーザ名 ・ パスワードファイル ・ 秘密鍵ファイル 値⇒ タイムアウト値[秒] タイムアウト値 送信元ファイル ・ 送信元ファイル ・ 更新 元に戻す	ボート番号 ボート番号 ユーザ名 エーザ名 パスワードファイル バ パスワードファイル マ 砂密鍵ファイル 値⇒ タイムアウト値[秒] タイムアウト値 送信元ファイル マ 送信先パス 日付 更新 元に戻す		ホスト	ホスト	•	
ユーザ名 ユーザ名 パスワードファイル パスワードファイル 秘密鍵ファイル 値⇒ タイムアウト値[秒] タイムアウト値 送信元ファイル ビ 送信先パス 日付 更新 元に戻す	ユーザ名 ユーザ名 パスワードファイル パスワードファイル 秘密鍵ファイル 値⇒ タイムアウト値[秒] タイムアウト値 送信元ファイル ・ 送信先パス 日付 更新 元に戻す	ユーザ名 エーザ名 パスワードファイル パスワードファイル 秘密鍵ファイル 値= タイムアウト値(秒) タイムアウト値 送信元ファイル ・ 送信先パス 日付 更新 元に戻す		ポート番号	ポート番号	•	
 パスワードファイル パスワードファイル ● ●<td>パスワードファイル パスワードファイル 秘密鍵ファイル 値⇒ タイムアウト値 タイムアウト値 メ信元ファイル 送信元ファイル 送信先パス 日付 更新 元に戻す</td><td>パスワードファイル パスワードファイル 秘密鍵ファイル 値⇒ タイムアウト値 タイムアウト値 メ信元ファイル メ 送信元ファイル ・ 支信先パス 日付 更新 元に戻す</td><td></td><td>ユーザ名</td><td>ユーザ名</td><td>•</td><td></td>	パスワードファイル パスワードファイル 秘密鍵ファイル 値⇒ タイムアウト値 タイムアウト値 メ信元ファイル 送信元ファイル 送信先パス 日付 更新 元に戻す	パスワードファイル パスワードファイル 秘密鍵ファイル 値⇒ タイムアウト値 タイムアウト値 メ信元ファイル メ 送信元ファイル ・ 支信先パス 日付 更新 元に戻す		ユーザ名	ユーザ名	•	
 秘密鍵ファイル 値⇒ タイムアウト値[秒] タイムアウト値 ジ信元ファイル 送信元ファイル 送信先パス 日付 更新 元に戻す 	 秘密鍵ファイル タイムアウト値[秒] タイムアウト値 マ 送信元ファイル ▼ 送信先パス 日付 ▼ 更新 元に戻す 図 2-27 プロパティ設定後	 秘密鍵ファイル 値⇒ タイムアウト値[秒] タイムアウト値 送信元ファイル 送信先パス 日付 更新 元に戻す 図 2-27 プロパティ設定後		パスワードファイル	パスワードファイル	•	
タイムアウト値[秒] メ信元ファイル メ信元ファイル メ信先パス 日付 ▼ 東新 元に戻す 図 2-27 プロパティ設定後	タイムアウト値[秒] 送信元ファイル 送信元ファイル 送信先パス 日付 更新 元に戻す 図 2-27 プロパティ設定後	タイムアウト値[秒] タイムアウト値 送信元ファイル ・ 送信先パス 日付 更新 元に戻す		秘密鍵ファイル	値⇒	•	
送信元ファイル 送信元ファイル 送信先パス 日付 更新 元に戻す 図 2-27 プロパティ 設定後	送信元ファイル 送信元ファイル 送信先パス 日付 ▼ 更新 元に戻す 図 2-27 プロパティ設定後	送信元ファイル 送信元ファイル 送信先パス 日付 更新 元に戻す 図 2-27 プロパティ設定後		タイムアウト値[秒]	タイムアウト値	•	
送信先バス 日付 更新 元に戻す 図 2-27 プロパティ 設定後	送信先パス 日付 更新 元に戻す 図 2-27 プロパティ設定後	送信先パス 日付 更新 元に戻す 図 2-27 プロパティ設定後		送信元ファイル	送信元ファイル	•	
更新 元に戻す 図 2-27 プロパティ設定後	更新 元に戻す 図 2-27 プロパティ設定後	更新 元に戻す 図 2-27 プロパティ設定後		送信先パス	日付	•	
図 2-27 プロパティ設定後	☑ 型 2-27 プロパティ設定後	<u>更新</u> <u>ルに戻</u> 9 図 2-27 プロパティ設定後		T T T			
図 2-27 プロパティ設定後	図 2-27 プロパティ設定後	図 2-27 プロパティ設定後				.庆9	
				図 2-27	プロパティ設定	後	

変数一覧画面の各変数に対する初期値について、表 2-5 にしたがって入力してください。

表 2-5 変数一覧画面の初期値話

変数名	初期値	備考
ホスト	192.168.56.2	-
ポート番号	22	-
ユーザ名	user	-
パスワードファイ	cipherPassword.json	-
IL		
タイムアウト値	10	ご使用になる環境に応じて
		適切な値を調整してくださ
		v.
送信元ファイル	/home/user/log/*.log	-
日付		初期値は空欄にしてくださ
		い。 値は 2.6.4 章の処理で自
		動的に生成されます。

変数一覧				
💓 🔍 🕎 😽	$\bigcirc \bigcirc $	$\mathbf{C} \mathbf{C} $	8 🧹	🎭 😎 🕞 🕞
」 グループ名	変数名	現在値	初期化しない	初期値
グループなし				
	echo実行結果			
	ホスト			192.168.56.2
	ポート番号			22
	ユーザ名			user
	パスワードファイル			cipherPassword.json
	タイムアウト値			10
	送信元ファイル			/home/user/log/*.log
	日付			

図 2-28 初期値設定後



	- トを配直後、それそれのフロハアイ画面を開さます。
サフ	ブルーチングループのプロパティ画面については、名前を「ログフォルダ作成」に
変更し	します。サブルーチン呼び出しについては名前を「ログフォルダ作成呼び出し」に
変更し	し、サブルーチン名は「ログフォルダ作成」を選択します。
ロパティ	▼× プロパライ ▼× サブリーモン
4	5 m ログフォルダ作成 名前 ログフォルダ作成・ビニレ
ХC	۲۷ - ۲۷ - ۲۷ - ۲۷ - ۲۷ - ۲۷ - ۲۷ - ۲۷ -
ローカル接	数の設定(終了時に開始時の値を復元する変数) サブルーチン名 ログフォルダ作成 ▼ 同期
	<u>追加する変数</u> 返り値 変数名を選択 ▼ (省略可)
	道加 刑除 更新 元に戻す
	☑ 空文字の引数と返り値を受け渡す
	更新 元に戻す
サン 「r 全化	図 2-30 サブルーチングループ、サブルーチン呼び出しの設定 ブルーチン内の処理の作成 コグフォルダ作成」サブルーチン内の処理を作成します。 本像を以下に示します。
サン 「r 全化 1.	図 2-30 サブルーチングループ、サブルーチン呼び出しの設定 ブルーチン内の処理の作成 コグフォルダ作成」サブルーチン内の処理を作成します。 本像を以下に示します。 フォルダ名の作成 ① 日時の取得 取得される日時の形式としては、以下のようになります。 <取得される日時の形式> yyyy-mm-dd HH:mm:ss
サン 「r 全化 1.	図 2·30 サブルーチングループ、サブルーチン呼び出しの設定 ブルーチン内の処理の作成 コグフォルダ作成」サブルーチン内の処理を作成します。 本像を以下に示します。 フォルダ名の作成 ① 日時の取得 取得される日時の形式としては、以下のようになります。 <取得される日時の形式> yyyy・mm・dd HH:mm:ss ただし Windows の地域の設定によっては、上記のような形式ではない場合 があります。その場合は本マニュアルを参考にシナリオの処理内容を変更し てください。
サン 「r 全 1.	図 2·30 サブルーチングループ、サブルーチン呼び出しの設定 ブルーチン内の処理の作成 コグフォルダ作成」サブルーチン内の処理を作成します。 本像を以下に示します。 フォルダ名の作成 ① 日時の取得 取得される日時の形式としては、以下のようになります。 <取得される日時の形式> yyyy・mm・dd HH:mm:ss ただし Windows の地域の設定によっては、上記のような形式ではない場合 があります。その場合は本マニュアルを参考にシナリオの処理内容を変更し てください。 ② フォルダ名の生成
サン 「r 全作 1.	図 2-30 サブルーチングループ、サブルーチン呼び出しの設定 ブルーチン内の処理の作成 コグフォルダ作成」サブルーチン内の処理を作成します。 本像を以下に示します。 フォルダ名の作成 ① 日時の取得 取得される日時の形式としては、以下のようになります。 <取得される日時の形式> yyyy・mm・dd HH:mm:ss ただし Windows の地域の設定によっては、上記のような形式ではない場合 があります。その場合は本マニュアルを参考にシナリオの処理内容を変更し てください。 ② フォルダ名の生成 ①の形式から半角コロン(:)をなくし、スペースをアンダーラインに置き換え
サン 「r 全 イ 1.	 図 2-30 サブルーチングループ、サブルーチン呼び出しの設定 ブルーチン内の処理の作成 コグフォルダ作成」サブルーチン内の処理を作成します。 本像を以下に示します。 フォルダ名の作成 日時の取得 取得される日時の形式としては、以下のようになります。 <取得される日時の形式> yyyy・mm・dd HH・mm・ss ただし Windows の地域の設定によっては、上記のような形式ではない場合があります。その場合は本マニュアルを参考にシナリオの処理内容を変更してください。 フォルダ名の生成 の形式から半角コロン(:)をなくし、スペースをアンダーラインに置き換えることで表 2・2 の④の形式(vvvv・mm・dd HH・mmss)に変換します
サン 「r 全 1. 2	図 2-30 サブルーチングループ、サブルーチン呼び出しの設定 ブルーチン内の処理の作成 コグフォルダ作成」サブルーチン内の処理を作成します。 本像を以下に示します。 フォルダ名の作成 ① 日時の取得 取得される日時の形式としては、以下のようになります。 <取得される日時の形式> yyyy・mm・dd HH:mm:ss ただし Windows の地域の設定によっては、上記のような形式ではない場合 があります。その場合は本マニュアルを参考にシナリオの処理内容を変更し てください。 ② フォルダ名の生成 ①の形式から半角コロン(:)をなくし、スペースをアンダーラインに置き換え ることで表 2-2の④の形式(yyyy・mm・dd_HHmmss)に変換します フォルダの作成


配	2置したノードをダブルクリックしてプロパティを開きます。
収/ フォ.	【停結来に「日勺」を、日勺形式に「yyyy-mm-dd」を、タイムソーンに「OS テ - ルト」を選択し「更新]ボタンをクリックします。
	2 前 日時取得
	取得結果 日付 ▼
	フォーマットタイプ 日付と時間 ▼
	日付形式 yyyy-mm-dd ▼
	タイムゾーン OSデフォルト 🔹
	更新 元に戻す
	図 2-32 フロハティ(日時取得)の設定



プロ	パティ		~ ×
		スクリプト実行	
	名前	文字列置換	
	コメント		
5	空忘 スクリ	パージョン信報	
[3]	☆~ ハンン 変換文字列」 置換後 の文5		
注	音:		
·2	置換前の文字 変換文字列が	列が見つからない場合、元の文字列のままとなります。 5特定の文字列を消去していきたい場合は、置換前に	消去したい
Ì	字、置換後は	空で指定します。 	
	3	換文字列 日付	•
		置換前値╡	•
		置換後 値⇒	•
		= ±	
図 2-3	34 プロノ	ティ(一つ目の文字列置換: 半角コロン(:)と空欄)の設定



プロパティ	▼ X
	スクリプト実行
名前 文字列置換	È.
אעאב	
設定 スクリプト 注釈	バージョン情報
「変換文字列」に指定した文字	字列から「置換前」の文字列を検索して、
注意: ・置換前の文字列が見つから ・変換文字列から特定の文字 後は空で指定します。 変換文字列	ない場合、元の文字列のままとなります。 『列を消去していきたい場合は、置換前に消去したい文字、置換
友厌天于 州 安唐华	
直接前 一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一	
直換後	
更新	元に戻す





WinActor $ I - F $	端末機能 シナ	トリオ作成マニュア	アル	
変数一覧				
xy) 🔍 💀 😽	$\bigcirc \bigcirc $	8 0 0	8 🖌	🍬 😎 🕞 🖓
』 グループ名	変数名	現在値	初期化しない	初期値
グループなし				
	echo実行結果			
	ホスト			192.168.56.2
	ポート番号			22
	ユーザ名			user
	パスワードファイル			cipherPassword.json
	タイムアウト値			10
	送信元ファイル			/home/user/log/*.log
	日付			
	結果フォルダ			

図 2-39 変数一覧画面の更新確認



プロパティ						* ×	
			スクリプト実	ក្			
	名前	フォルダ作成	\$				
2	リメント						
設定	スクリプ	ト 注釈	バージョン情報				
フォルダ	を作成しま	.					
※操作) 開いる	対象のフォ (いるシナ! 作成	ルタを相対 リオのフォルク フォルダ名	バスで指定する場合、 ダが起点となります。 結果フォルダ		•		
	(±.	1		-=+		
		更新 図 2-41	. プロパティ(フ.	元 オルダ作成)の	iに戻す D設定		
のシナ! オルダ(Jオの音 乍成を左	更新 図 2-41 3分実行を 5クリック	プロパティ(フ と行い、動作を確 っで選択後、右ク	オルダ作成)の 認します。 リックし「部	に戻す の設定 3分実行」を	 ご選択します	0
のシナ ! オルダ (ノオの音	更新 図 2-41 3分実行を 5クリック	プロパティ(フ そ行い、動作を確 っで選択後、右ク	オルダ作成)の 認します。 リックし「部	に戻す の 設定 3分実行」を		o
のシナ! オルダイ	ノオの音	更新 図 2-41 3分実行を 注クリック	プロパティ(フ そ行い、動作を確 マで選択後、右ク	オルダ作成)の 認します。 リックし「部	に戻す の 設定 3分実行」を	 - 選択します	D
のシナ! オルダイ	リオの音	更新 図 2-41 3分実行を 5クリック	プロパティ(フ そ行い、動作を確 っで選択後、右ク	オルダ作成)の 認します。 リックし「部	に戻す の設定 3分実行」を	 ご選択します	0
のシナ! オルダ↑	リオの音	更新 図 2-41 3分実行を 5クリック	プロパティ(フ そ行い、動作を確 マで選択後、右ク	オルダ作成)の 認します。 リックし「部	に戻す の 設定 3分実行」を	 達選択します	o
のシナ! オルダイ	ノオの音	更新 図 2-41 3分実行る 2クリック	・ プロパティ(フ そ行い、動作を確 っで選択後、右ク	オルダ作成)の 認します。 リックし「部	に戻す の 設定 3分実行」を	 と選択します	0
のシナ! オルダイ	ノオの音	更新 図 2-41 3分実行さ たクリック	・ プロパティ(フ を行い、動作を確 っで選択後、右ク	オルダ作成)の 認します。 リックし「部	に戻す の設定 3分実行」を	 z 選択します	Ð
のシナ! オルダイ	ノオの音	更新 図 2-41 3分実行を ミクリック	- プロパティ(フ. そ行い、動作を確 っで選択後、右ク	オルダ作成) の 認します。 リックし「部	に戻す の設定 3分実行」を		D



空のフォルダが作成されたことを確認します。確認後、作成されたフォルダを削除してくだ さい。



ノードの配置後、それぞれの	プロパティ画面を開きます。
サブルーチングループのプロ	パティ画面については、名前を「ログファイル移動」に
変更します。サブルーチン呼び	出しについては名前を「ログファイル移動呼び出し」に
変更し、サブルーチン名は「ロ	グファイル移動」を選択します。
(71	▼× 7□/(ティ ▼×
サブルーチン	サブルーチン呼び出し
名前 ログファイル移動	名前 ログファイル呼び出し
1775	1000
1-カル変数の設定(終了時に開始時の値を復元する変数)	サブルーチン名 ログファイル移動 ・ 同期
追加する変数 変数名を選択	209億 変数名を選択 ▼ (省略可)
	<u> 自加</u> 別除 更新 元に戻す
✓ 空文字の引数と返り値を受け渡す	
更新 元に)	戻す
図 2-44 サブルーチ	ングループ、サブルーチン呼び出しの設定



WinActor ノート 対	端末機能 シナ	リオ作成マニュアル
----------------	---------	-----------

配置したライブラリをダブルクリックしてプロパティを開きます。

ファイル名は「SSH クライアント実行ログ.txt」を入力し、ファイルパス生成結果は「SSH ログファイル名_絶対パス」を入力し[更新]ボタンをクリックします。

新しい変数として登録するか否かを確認する画面が表示され[はい]をクリックする と変数一覧画面に新しい変数として登録されます。

プロパティ	* ×
スクリプト実行	
名前 シナリオフォルダのファイルパス	
אַראָב	
設定 スクリプト 注釈 バージョン情報	
シナリオフォルダを起点としたファイルパスを作成します シナリオが保存されていない場合は、空の情報となります。	
例) シナリオが c:¥temp フォルダに保存されており、 ファイル名に a.txt を指定した場合、 ファイルパス生成結果には c:¥temp¥a.txt が格納されます。	
ファイル名 値⇒ SSHクライアント実行ログ.txt ▼	
ファイルパス生成結果 SSHログファイル名_絶対パス ▼	
更新 元に戻す	

図 2-46 プロパティ(シナリオフォルダのファイルパス)の設定

WinActor ノート 端末機能 シナリオ作成マニュアル 変数一覧 📼 🔍 👒 😘 🔂 🛈 🙂 😂 🔂 🕒 🔂 🙂 🐼 🗹 🍫 🤝 グループ名 変数名 現在値 初期化しない 初期値 グループなし echo実行結果 192.168.56.2 ホスト ポート番号 22 ユーザ名 user パスワードファイル cipherPassword.json タイムアウト値 10 送信元ファイル /home/user/log/*.log 日付 結果フォルダ SSHログファイル名_絶対パフ 図 2-47 変数一覧画面の更新確認

2. 2 7 1 1 4 19 29 30 7 1 7 7 7 7 7 7 1 4 10 1 27/1/10 8 #5/0 9 - 10 0 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 1
 ファイル剤除 ファイル存在有無チェック ファイル接般取得(更新日時) ファイル接線取得(更新日時) ログファイル呼び出し ログファイル呼び出し ログファイルの子び出し レーログファイルの子び出し レーログログログログログログログログログログログログログログログログログログログ
▶ 14.入力関操作 ▶ 15 面像マッチング関連

Junction Tunction Tunction Tunction Tunction Junction Image: State of the state of th	配直し7 移動元1	ミライブラ は「SSH ロ	リをダフ 1グファィ	ブルクリックしてブロパティを開きます。 イル名 絶対パス」を選択し、移動先は「結果フォルダ」を
プロパティー・・× Am フィル移動 コメット 配 フマルを動 原産 フロプト 注意 パージョン情報 「た戻す」	入力し []	更新] ボタ	ンをクリ	リックします。
<complex-block></complex-block>	プロパテ	1		▼ X
名前 フr/l k k b Jx/t				スクリプト実行
<complex-block></complex-block>		名前フ	ァイル移動	
設定 スリリト 注釈 バージョン情報 「規定されたファイルを移動します。 「推動元」: 移動したいファイル名を絶対パスか相対パスで指定します。 「移動先」: 移動たのフォルダ名もしくはファイル名を、 「移動先」: た戻す 「数大」にフォルダ名を指定した場合は、「移動た」に 「お助先」にフォルダ名を指定した場合は、「移動た」 「かん名を変更せずに指定フォルダハファイルが移動します。 「かん名を変更せずに指定フォルダハファイルが移動します。 「おしんろされんダでファイル名を変更したい場合は、「移動先」 「おしんるさで含めてください。 「数数九」「シフィル名_絶対パスで指定する場合、 「数加」」 「SHログファイル名_絶対パス」 「数加」」 「おし、 「数加」」 「おし、 「数加」」 「おし、 「数加」」 「 <		איאב		
アノ・レベ・パクシウイは、 指定されたファイルを移動します。 指定されたファイルを移動します。 体動元」: 移動たのフォルダ名もしくはファイル名を、 絶対パスが相対パスで指定します。 「移動先」: や動たりにフォルダ名を指定した場合は、 アイル名を変更せざに指定フォルダへファイルが移動します。 移動た」ごフォルダでファイル名を変更したい場合は、「移動先」に アイル名を変更せざい場合は、「移動先」に **#作対象のファイルまたはフォルダを相対パスで指定する場合、 開いてい。 **#作対象のファイルまたはフォルダを相対パスで指定する場合、 開いてい。 **#作対象のファイルまたはフォルダを相対パスで指定する場合、 開いてい。 **#作対象のファイルまたはフォルダを相対パスで指定する場合、 「酸力元」 「夏新」」 「夏新」」 「五に戻す」 図 2-49 プロペティ(ファイルを動)の設定	铅完	マクリプト	注册	パージョン信却
 ** をかたいたいたいたいたいたいたいたいたいたいたいたいたいたいたいたいたいたいたい	指定	されたファイルを	を移動します	J. J
「移動先」: 移動先のフォルダ名もしくはファイル名を、 絶対パスが相対パスで指定します。 「移動先」にフォルダ名を指定した場合は、 うイル名を変更せずに指定フォルダヘアイルが移動します。 移動たフォルダでファイル名を変更したい場合は、「移動先」に フィル名まで含めてください。 **操作対象のファイルまたはフォルダを相対パスで指定する場合、 開いているシナリオのフォルダが起点となります。 ● 数元 SHログファイル名_絶対パス ▼ ● 数元 結果フォルダ ■ 元に戻す ■ 図 2・49 プロパティ(ファイル移動)の設定	「移動	h元 :移動	たいファイル	し名を絶対パスか相対パスで指定します。
更新 元に戻す 図 2-49 プロパティ(ファイル移動)の設定	※操	が 移動 ファ・ いているシナリ	からフォルダ イル名まで? イルまたはフ オのフォルダ 移動元 移動先	C こうほん フォルノ・マク 1 ルガ 45 あいひよう。 パでファイル名を変更したい場合は、「移動先」に 含めてください。 はルダを相対パスで指定する場合、 が起点となります。 SSHログファイル名_絶対パス ▼ 結果フォルダ ▼
図 2-49 プロパティ(ファイル移動)の設定			更新	
			2-2-101	



2.7. 動作確認

シナリオの最終動作を確認します。

WinActor のツールバーの実行ボタンをクリックします。



図 2-51 シナリオの実行

シナリオ実行後、「C:¥端末機能シナリオ」フォルダにシナリオを実行した日時のフ オルダが作成され、server#1.log, server#2.log, SSH クライアント実行ログ.txt の3フ ァイルが取得されます。

SSH クライアント実行ログ.txt の取得例を図 2-52 に示します。

Last login: Thu Aug 29 14:07:12 2019 from 192.168.56.1 [user@demoserver ~]\$ cd log [user@demoserver log]\$ date 2019 年 8月 29日 木曜日 14:35:54 JST [user@demoserver log]\$ ls *.log server#1.log server#2.log [user@demoserver log]\$ echo \$? 0 [user@demoserver log]\$

図 2-52 取得された実行ログ例

WinActor ノート 端末機能 シナリオ作成マニュアル ライブラリ・プロパティの一覧 3. 3.1. シェルツール PowerShell、およびコマンドプロンプトを使用するためのライブラリについて本章で説 明します。本章では基本的なシナリオの作成手順を説明します。3.1.1~3.1.4 ではシェルツ ールのライブラリのプロパティについて個々に説明します。 [PowerShell の実行手順] 1. シナリオへのライブラリの配置 以下のライブラリを順にシナリオへ配置してください。 3.1.1 PowerShell を開く 3.1.3 コマンドを実行する(PowerShell、コマンドプロンプト) 3.1.4 PowerShell・コマンドプロンプトを閉じる 配置した後のシナリオは図 3-1 のようになります。 * 新しいシナリオ.ums7 [編集] - WinActor アテイル(E) 表示(V) ツール(T) ヘルプ(H) _ 🗆 × h 🖿 💾 | 🐰 🐚 🗅 😣 | 🥥 🕓 | 💽 🕄 🕕 🔹 🕒 🔶 💮 ▼ × ようこそ * 新しいシナリオ.ums7 × + ライブラリ = 🚮 🖍 🧿 📐 🕂 🔍 🖄 📫 📜 🖻 🐐 🛄 🗐 🍽 📾 varborner 🕈 👘 検索 検索文字列 メイン + □ 全ての言語のライブラリを表示する シナリオ ▷ 24_Java関連 ▲ 25 WinActor/-ト **▲** 01_シェルツール 開始 PowerShellを開く PowerShell・コマンドプロンプトを閉じる コマンドを実行する(PowerShell,コマンドプロン) コマンドプロンプトを開く ■ PowerShellを開く ▷ 02_SSHツール ▷ 03_Telnetツール コマンドを実行する(Po... 1ブロックずつ読み取り カーソル移動と読み取り PowerShell・コマンドプ... カーソル移動ツール クリップボードから差し込み クリップボードから読み込み ↓ クリップボードへコピー 終了 ソート タブツール テキストファイル書き込み ノード ライブラリ お気に入り 評価版 編集中 図 3-1 PowerShell を使用した基本的なシナリオ例

 プロバティ設定 以下の章に記載の内容にしたがって、プロバティを設定してください。 3.1.1 PowerShell を明く 3.1.3 コマンドを実行する(PowerShell,コマンドプロンプト) 3.1.4 PowerShell・コマンドプロンプトを閉じる ビコマンドプロンプトの実行手順 シナリオへのライブラリの配置 以下のライブラリを順にシナリオへ配置してください。 3.1.2 コマンドプロンプトを開く 3.1.3 コマンドを実行する(PowerShell,コマンドプロンプト) 3.1.4 PowerShell・コマンドプロンプトを閉じる 配置した後のシナリオ(は図 3-2 のようになります。 アケ/40 *#00 *Pan Ab/20 *EU/27/2017/15/2017 *EU/27/201	WinActor ノート 端末機能 シナリオ作成マニュアル
[コマンドプロンプトの実行手順] 1. シナリオへのライブラリの配置 以下のライブラリを順にシナリオへ配置してください。 3.1.2 コマンドプロンプトを閉く 3.1.3 コマンドを実行する(PowerShell,コマンドプロンプト) 3.1.4 PowerShell・コマンドプロンプトを閉じる 配置した後のシナリオは図 3・2 のようになります。 8.25 **Liv97Jutane7 (##1*Wektor ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●	 プロパティ設定 以下の章に記載の内容にしたがって、プロパティを設定してください。 3.1.1 PowerShellを開く 3.1.3 コマンドを実行する(PowerShell,コマンドプロンプト) 3.1.4 PowerShell・コマンドプロンプトを閉じる
配置した後のシナリオは図 3-2 のようになります。	 [コマンドプロンプトの実行手順] シナリオへのライブラリの配置 以下のライブラリを順にシナリオへ配置してください。 3.1.2 コマンドプロンプトを開く 3.1.3 コマンドを実行する(PowerShell,コマンドプロンプト) 3.1.4 PowerShell・コマンドプロンプトを閉じる
ノード ライブラリ お気に入り 評価版 編集中 ID: 7 種別: スクリプト実行 名前: PowerShellを開く コメント: ● エラーは見つかりませんでした 表示ノード数 / 全ノード数: 3 / 3 表示倍率: 100%	配置した後のシナリオは図 3-2 のようになります。 ・ フパル() Ratio * 「しいジナリスum? (福里) - Winders ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・

2. プロパティ設定

以下の章に記載の内容にしたがって、プロパティを設定してください。

3.1.2 コマンドプロンプトを開く

3.1.3 コマンドを実行する(PowerShell,コマンドプロンプト)

3.1.4 PowerShell・コマンドプロンプトを閉じる

3.1.1. PowerShell を開く

PowerShell を開きます。

表 3-1 「PowerShell を開く」	ライブラリ設定項目
------------------------	-----------

No.	項目	内容
1)	文字コード	PowerShell への入力、および WinActor ノートへ出力する際
		の文字コードを指定できます。

3.1.2. コマンドプロンプトを開く

コマンドプロンプトを開きます。

表 3-2 「コマンドプロンプトを開く」ライブラリ設定項目

No.	項目	内容
1	文字コード	コマンドプロンプトへの入力、および WinActor ノートへ出力
		する際の文字コードを指定できます。

3.1.3. コマンドを実行する(PowerShell,コマンドプロンプト)

PowerShell,コマンドプロンプト上でコマンドを実行します。

表 3-3 「コマンドを実行する(PowerShell,コマンドプロンプト)」ライブラリ設定項目

No.	項目	内容
1	コマンド	PowerShell およびコマンドプロンプトで実行するコマンドを
		指定することができます。テキストのみ入力可能です。制御
		文字を送信することはできません。

3.1.4. PowerShell・コマンドプロンプトを閉じる

PowerShell,コマンドプロンプトのセッションを閉じます。

3.2. SSH ツール

SSH ツールで提供される SSH クライアント機能・ファイル送受信機能(SCP)を使用する ためのライブラリについて本章で説明します。本章では基本的なシナリオの作成手順を説 明します。3.2.1 では SSH クライアント・ファイル送受信機能(SCP)で共通のサーバへ接続 する際の設定方法について、3.2.2~3.2.9 では SSH ツールのライブラリのプロパティにつ いて個々に説明します。

[SSH クライアント機能の実行手順]

 シナリオへのライブラリの配置 以下のライブラリを順にシナリオへ配置してください。
 3.2.2 SSH クライアントを開く
 3.2.4 コマンドを実行する(SSH クライアント)
 3.2.5 SSH クライアントを閉じる

配置した後のシナリオは図 3-3のようになります。



 プロパティ設定 以下の章に記載の内容にしたがって、プロパティを設定してください。
 3.2.2 SSH クライアントを開く
 3.2.4 コマンドを実行する(SSH クライアント)
 3.2.5 SSH クライアントを閉じる

[ファイル送信機能(SCP)の実行手順]

- シナリオへのライブラリの配置 以下のライブラリをシナリオへ配置してください。
 3.2.6 ファイル送信(SCP)
- プロパティ設定 以下の章に記載の内容にしたがって、プロパティを設定してください。
 3.2.6 ファイル送信(SCP)

[ファイル受信機能(SCP)の実行手順]

- シナリオへのライブラリの配置 以下のライブラリをシナリオへ配置してください。
 3.2.8 ファイル受信(SCP)
- プロパティ設定 以下の章に記載の内容にしたがって、プロパティを設定してください。
 3.2.8 ファイル受信(SCP)

3.2.1. 接続設定

SSH クライアント・ファイル送受信機能(SCP)で共通のサーバへ接続する際の設定方法 について説明します。

SSH ツールでは、パスワード認証と公開鍵認証の 2 つの認証方式での SSH サーバへの 接続が可能です。以下では上記 2 つの認証方式ごとに SSH サーバへ接続するために必要な 設定項目について説明します。

[パスワード認証]

- あらかじめSSHサーバへ接続する際のパスワード情報を含むパスワードファイルを 生成します。パスワードファイルの生成方法については、表 5-1 の No.3 の資料の 「パスワードファイル生成ツール」の章をご参照ください。
- 2. 表 3-4 にしたがって値を設定します。ここで記載されている設定値は表 2-1 の例に したがっていますので、ご使用の環境に合わせて設定してください。

項目	内容	本書の参考例における設定値
認証方式	認証方式を選択できます。	パスワード認証
文字コード	サーバへの入力、および WinActor ノー	UTF-8
	トへ出力する際の文字コードを指定で	
	きます。	
送信用	サーバへの入力する際の改行コードを	LF(Linux, MacOS X)
改行コード	指定できます。	
ホスト	接続する SSH サーバの IPv4 アドレス	192.168.56.2
	を指定できます。	
ポート番号	接続する SSH サーバのポート番号を	22
	指定できます。	
ユーザ名	SSH サーバヘログインする際のログ	user
	イン名を指定できます。	
パスワード	SSH サーバにログインする際に必要	secret¥sshLogin.json
ファイル	なパスワードを含むパスワードファ	※シナリオファイルが置かれて
	イルを指定できます。シナリオファイ	いるフォルダに secret フォルダ
	ルの置かれたフォルダから相対パス	があり、その中にパスワードフ
	で指定してください。	ァイル(sshLogin.json)が置かれ
		ている場合の例です。
秘密鍵	パスワード認証利用時は設定不要で	
ファイル	す。	

表 3-4 パスワード認証利用時の設定内容

WinActor ノート 端末機能 シナリオ作成マニュアル				
	-			
コマンド	ログイン処理が完了した際に表示さ	"\$ "		
待ち文字列	れるプロンプトの末尾を含む文字列	"は入力不要です。\$の後ろは		
	を指定できます。	スペースです。		
	複数指定したい場合は、カンマ区切り			
	で入力してください。(例)"\$"と"#			
	"を指定したい場合、"\$,#"。			
タイムアウト	SSH サーバへのログイン処理の各段	10		
値[秒]	階での最大待ち時間を秒単位で指定	※本設定値はあくまで例です。		
	できます。ご使用になる環境に応じて	ご使用環境によっては動作しな		
	適切な値を調整してください。	いこともあることをあらかじめ		
		ご了承ください。		
接続先一覧フ	「接続先一覧ファイル生成ツール」で	[接続先一覧ファイルを設定す		
アイル	接続の確認が取れた接続先の接続先	る場合のみ]		
	一覧ファイルを指定できます。シナリ	destination_hosts		
	オファイルの置かれたフォルダから	※シナリオファイルが置かれて		
	相対パスで指定してください。	いるフォルダ直下に接続先一覧		
		ファイル (destination_hosts) が		
		置かれている場合の例です。		

[公開鍵認証]

- 秘密鍵を生成します。秘密鍵の生成方法については、表 5-1の No.3 の資料の「SSH 鍵生成ツール」の章をご参照ください。
- 秘密鍵を生成する際、パスフレーズを設定した場合は、パスワードファイルを生成します。パスワードファイルの生成方法については、表 5-1の No.3の資料の「パスワードファイル生成ツール」の章をご参照ください。
- 3. 表 3-5 にしたがって値を設定します。ここで記載されている設定値は表 2-1 の例に したがっていますので、ご使用の環境に合わせて設定してください。

項目	内容	本書の参考例における設定値
認証方式	認証方式を選択できます。	公開鍵認証
文字コード	サーバへの入力、および	UTF-8
	WinActor ノートへ出力する際の	
	文字コードを指定できます。	
送信用改行コー	サーバへの入力する際の改行	LF(Linux, MacOS X)
ド	コードを指定できます。	
ホスト	接続する SSH サーバの IPv4 ア	192.168.56.2
	ドレスを指定できます。	
ポート番号	接続する SSH サーバのポート	22
	番号を指定できます。	
ユーザ名	SSH サーバヘログインする際	user
	のログイン名を指定できます。	
パスワード	パスフレーズを付与した秘密	[秘密鍵にパスフレーズを設定し
ファイル	鍵用のパスワードファイルを	た場合のみ]
	指定できます。シナリオファイ	secret \$sshLoginPassphrase.json
	ルの置かれたフォルダから相	※シナリオファイルが置かれてい
	対パスで指定してください。	るフォルダに secret フォルダがあ
		り、その中にパスワードファイル
	秘密鍵にパスフレーズを設定	(sshLoginPassphrase.json)が置
	しない場合は設定不要です。	かれている場合の例です。
秘密鍵ファイル	秘密鍵ファイルを指定できま	secret¥sshLoginKey
	す。シナリオファイルの置かれ	※シナリオファイルが置かれてい
	たフォルダから相対パスで指	るフォルダに secret フォルダがあ
	定してください。	り、その中に秘密鍵ファイル
	•	·

表 3-5 公開鍵認証利用時の設定内容

		(sshLoginKey)が置かれている場
		合の例です。
コマンド	ログイン処理が完了した際に	"\$ "
待ち文字列	表示されるプロンプトの末尾	"は入力不要です。\$の後ろは
	を含む文字列を指定できます。	スペースです。
	複数指定したい場合は、カンマ	
	区切りで入力してください。	
	(例)"\$" と "#"を指定したい	
	場合、"\$,# "。	
タイムアウト値	SSH サーバへのログイン処理	10
[秒]	の各段階での最大待ち時間を	※本設定値はあくまで例です。ご
	秒単位で指定できます。ご使用	使用環境によっては動作しないこ
	になる環境に応じて適切な値	ともあることをあらかじめご了承
	を調整してください。	ください。
接続先一覧ファイ	「接続先一覧ファイル生成ツ	[接続先一覧ファイルを設定する
ル	ール」で接続の確認が取れた接	場合のみ]
	続先の接続先一覧ファイルを	destination_hosts
	指定できます。シナリオファイ	※シナリオファイルが置かれてい
	ルの置かれたフォルダから相	るフォルダ直下に接続先一覧ファ
	対パスで指定してください。	イル (destination_hosts) が置か
		れている場合の例です。

3.2.2. SSH クライアントを開く SSH クライアントを開きます。

表 3-6 「SSH クライアントを開く」ライブラリ設定項目

No.	項目	内容
1	認証方式	3.2.1 をご参照ください。
2	文字コード	
3	送信用改行コー	
	К	
4	ホスト	
5	ポート番号	
6	ユーザ名	
$\overline{\mathcal{O}}$	パスワードファ	
	イル	
8	秘密鍵ファイル	
9	コマンド待ち文	
	字列	
10	タイムアウト値	
	[秒]	

3.2.3. SSH クライアントを開く(接続先一覧設定)

接続先一覧ファイルを指定して SSH クライアントを開きます。 接続先一覧ファイルの生成方法については、表 5-1の No.3 の資料の「接続先一覧ファイ

夜航元一覧ノアイルの主成方法については、表 5-1 の No.3 の質科の「接航元一覧ノアイ ル生成ツール」の章をご参照ください。

表 3-7 「SSH クライアントを開く(接続先一覧設定)」ライブラリ設定項目

No.	項目	内容
1	認証方式	3.2.1 をご参照ください。
2	文字コード	
3	送信用改行コー	
	Ч	
4	ホスト	
5	ポート番号	
6	ユーザ名	
7	パスワードファ	
	イル	
8	秘密鍵ファイル	
9	コマンド待ち文	
	字列	
10	タイムアウト値	
	[秒]	
(11)	接続先一覧ファ	
	イル	

3.2.4. コマンドを実行する(SSH クライアント)

SSH クライアント上でコマンドを実行します。

表 3-8 「コマンドを実行する(SSH クライアント)」ライブラリ設定項目

No.	項目	内容
1	コマンド	SSH クライアントで実行するコマンドを指定することがで
		きます。テキストのみ入力可能です。制御文字を送信する
		ことはできません。
2	コマンド待ち文	コマンドの処理が完了したことを表すメッセージの末尾を
	字列	含む文字列を指定できます。
		通常は 3.2.1 の「コマンド待ち文字列」と同一のものにな
		ります。
3	タイムアウト値	②が表示されるまでの最大待ち時間を指定できます。
	[秒]	

3.2.5. SSH クライアントを閉じる

SSH クライアントのセッションを閉じます。

3.2.6. ファイル送信(SCP)

SCP によるファイル送信を行います。

表 3-9 「ファイル送信(SCP)」ライブラリ設定項目

No.	項目	内容
1	認証方式	3.2.1 をご参照ください。
2	ホスト	
3	ポート番号	
4	ユーザ名	
5	パスワードファ	
	イル	
6	秘密鍵ファイル	
7	タイムアウト値	
	[秒]	
8	送信元ファイル	送信するファイルをシナリオファイルの置かれたフォルダ
		からの相対パスで指定できます。単一のファイルのみ指定
		できます。複数ファイルやフォルダは指定できません。
9	送信先パス	SSH サーバ上の送信元ファイル(⑧)の格納先のパスを入力
		できます。

3.2.7. ファイル送信(SCP・接続先一覧設定)

接続先一覧ファイルを指定して SCP によるファイル送信を行います。 接続先一覧ファイルの生成方法については、表 5-1 の No.3 の資料の「接続先一覧ファイ ル生成ツール」の章をご参照ください。

表 3-10 「ファイル送信(SCP・接続先一覧設定)」ライブラリ設定項目

No.	項目	内容
1	認証方式	3.2.1 をご参照ください。
2	ホスト	
3	ポート番号	
4	ユーザ名	
5	パスワードファ	
	イル	
6	秘密鍵ファイル	
$\overline{\mathcal{O}}$	タイムアウト値	
	[秒]	
8	接続先一覧ファ	
	イル	
9	送信元ファイル	送信するファイルをシナリオファイルの置かれたフォルダ
		からの相対パスで指定できます。単一のファイルのみ指定
		できます。複数ファイルやフォルダは指定できません。
10	送信先パス	SSH サーバ上の送信元ファイル(⑨)の格納先のパスを入力
		できます。
3.2.8. ファイル受信(SCP)

SCP によるファイル受信を行います。

表 3-11 「ファイル受信(SCP)」ライブラリ設定項目

No.	項目	内容
1	認証方式	3.2.1 をご参照ください。
2	ホスト	
3	ポート番号	
4	ユーザ名	
5	パスワードファ	
	イル	
6	秘密鍵ファイル	
$\overline{\mathcal{O}}$	タイムアウト値	
	[秒]	
8	送信元ファイル	SSH サーバ上の受信するファイルを指定できます。フォル
		ダは指定できません。「本チュートリアルで使用する環境」
		ではファイルにワイルドカード(*や?)を使用できます。
9	送信先パス	SSH サーバ上の送信元ファイル(⑧)の格納先のパスを入力
		できます。

3.2.9. ファイル受信(SCP・接続先一覧設定)

接続先一覧ファイルを指定して SCP によるファイル受信を行います。 接続先一覧ファイルの生成方法については、表 5-1の No.3の資料の「接続先一覧ファイ ル生成ツール」の章をご参照ください。

表 3-12 「ファイル受信(SCP・接続先一覧設定)」ライブラリ設定項目

No.	項目	内容
1	認証方式	3.2.1 をご参照ください。
2	ホスト	
3	ポート番号	
4	ユーザ名	
5	パスワードファ	
	イル	
6	秘密鍵ファイル	
$\overline{\mathcal{O}}$	タイムアウト値	
	[秒]	
8	接続先一覧ファ	
	イル	
9	送信元ファイル	SSH サーバ上の受信するファイルを指定できます。フォル
		ダは指定できません。「本チュートリアルで使用する環境」
		ではファイルにワイルドカード(*や?)を使用できます。
10	送信先パス	SSH サーバ上の送信元ファイル(⑨)の格納先のパスを入力
		できます。

3.2.10. 制御コードを送信する(SSH クライアント)

SSH クライアント上で制御コードを送信します。

表 3-13 「制御コードを送信する(SSH クライアント)」ライブラリ設定項目

No.	項目	内容
1	制御コード	SSH クライアントで送信する制御コードを指定することが
		できます。Ctrl+A~Ctrl+Z が指定できます。
2	コマンド待ち文	コマンドの処理が完了したことを表すメッセージの末尾を
	字列	含む文字列を指定できます。
		通常は 3.2.1 の「コマンド待ち文字列」と同一のものにな
		ります。
3	タイムアウト値	②が表示されるまでの最大待ち時間を指定できます。
	[秒]	

3.3. Telnet ツール

Telnet クライアント機能を使用するためのライブラリについて本章で説明します。本章 では基本的なシナリオの作成手順を説明します。3.3.1~3.3.3 では Telnet ツールのライブ ラリのプロパティについて個々に説明します。

[Telnet クライアント機能の実行手順]

 シナリオへのライブラリの配置 以下のライブラリを順にシナリオへ配置してください。
3.3.1 Telnet クライアントを開く
3.3.2 コマンドを実行する(Telnet クライアント)
3.3.3 Telnet クライアントを閉じる

配置した後のシナリオは図 3-4 のようになります。



2. プロパティ設定

以下の章に記載の内容にしたがって、プロパティを設定してください。

- 3.3.1 Telnet クライアントを開く
- 3.3.2 コマンドを実行する(Telnet クライアント)
- 3.3.3 Telnet クライアントを閉じる

3.3.1. Telnet クライアントを開く

Telnet クライアントを開きます。

No.	項目	内容
1	文字コード	サーバへの入力、および WinActor ノートへ出力する際の
		文字コードを指定できます。
2	ホスト	接続する Telnet サーバの IPv4 アドレスを指定できます。
3	ポート番号	接続する Telnet サーバのポート番号を指定できます。
4	ユーザ名	Telnet サーバヘログインする際のログイン名を指定できま
		す。
5	パスワードファ	Telnet サーバにログインする際に必要なパスワードを含む
	イル	パスワードファイルを指定できます。シナリオファイルの
		置かれたフォルダから相対パスで指定してください。
6	ログイン待ち	Telnet サーバがユーザ名の入力を促すメッセージの末尾を
	文字列	含む文字列を指定できます。
\bigcirc	パスワード待ち	Telnet サーバがパスワードの入力を促すメッセージの末尾
	文字列	を含む文字列を指定できます。
8	コマンド	ログイン処理が完了した際に表示されるプロンプトの末尾を
	待ち文字列	含む文字列を指定できます。
		複数指定したい場合は、カンマ区切りで入力してくださ
		い。(例)"\$"と "#"を指定したい場合、"\$,#"。
9	タイムアウト値	Telnet サーバへのログイン処理の各段階での最大待ち時間
	[秒]	を秒単位で指定できます。ご使用になる環境に応じて適切
		な値を調整してください。

表 3-14 「Telnet クライアントを開く」ライブラリ設定項目

※送信用改行コードはCR+LF 固定となります。

3.3.2. コマンドを実行する(Telnet クライアント)

Telnet クライアント上でコマンドを実行します。

表 3-15 「コマンドを実行する(Telnet クライアント)」ライブラリ設定項目

No.	項目	内容
1	コマンド	Telnet クライアントで実行するコマンドを指定することが
		できます。テキストのみ入力可能です。制御文字を送信す
		ることはできません。
2	コマンド待ち文	コマンドの処理が完了したことを表すメッセージの末尾を
	字列	含む文字列を指定できます。
		通常は 3.3.1 の「コマンド待ち文字列」と同一のものにな
		ります。
3	タイムアウト値	②が表示されるまでの最大待ち時間を指定できます。
	[秒]	

3.3.3. Telnet クライアントを閉じる

Telnet クライアントのセッションを閉じます。

3.3.4. 制御コードを送信する(Telnet クライアント)

Telnet クライアント上で制御コードを送信します。

表 3-16 「制御コードを送信する(Telnet クライアント)」 ライブラリ設定項目

項目	内容
制御コード	Telnet クライアントで送信する制御コードを指定すること
	ができます。Ctrl+A~Ctrl+Z が指定できます。
コマンド待ち文	コマンドの処理が完了したことを表すメッセージの末尾を
字列	含む文字列を指定できます。
	通常は 3.3.1 の「コマンド待ち文字列」と同一のものにな
	ります。
タイムアウト値	75 が表示されるまでの最大待ち時間を指定できます。
[秒]	
	項目 制御コード コマンド待ち文 字列 タイムアウト値 [秒]

4. ドッキングウィンドウ

ドッキングウィンドウについての説明は「WinActor ノート 操作マニュアル」を参照。

5. 参照資料

本マニュアル中にて参照する資料について表 5-1 に示します。

表 5-1 参照資料

No.	資料名
1	WinActor 操作マニュアル
2	WinActor ユーザライブラリサンプル説明書
3	WinActor ノート 操作マニュアル
4	WinActor ノート テキスト処理シナリオ作成マニュアル



NTTアドバンステクノロシ、株式会社

Copyright © 2013-2025 NTT, Inc. & NTT ADVANCED TECHNOLOGY CORPORATION

本書は著作権法上の保護を受けています。本書の一部あるいは全部を無断で複写、複製することは禁じられています。 本マニュアルの内容は予告なく変更される場合があります。

WA7-P-20250603